

あなたもシマクトウバの先生になってみませんか

## 募集案内

# しまくとうば講師養成講座

第5期

受講生募集

沖縄 前期・後期



しまくとうばを教えるのに

大切な事は、流暢に話せるよりも、言葉を初めて学ぶ人の気持ちになってわかりやすく教える、生徒が理解しているか確認しながら教えるという事です。本講座では、「シマクトウバ」をどのように教えたら良いかを学びます。

日 程：8/31～11/30

(毎回土曜日 全9日間) 9:30～15:10

会 場：沖縄県総合福祉センター、県立芸大。

対 象：16歳以上でシマクトウバ教育に意欲のある方。

定 員：70名(先着順) \*オンライン動画視聴のみの聴講生30名

受 講 料：無料

主 催：しまくとうば普及センター

問 合 せ：098-988-0411 (平日 9:00～17:00)

申 込：右の申込フォームまたはしまくとうばナビのニュース欄からお申し込みください。郵送也可。

申込締切：7月31日(水)

申込先：900-0021 那覇市泉崎1-2-2 9階 しまくとうば普及推進室内

しまくとうば普及センター 担当：砂川、平良

kuganikutuba.okibun@gmail.com

\*募集案内の内容をよく読んだうえでご応募ください。

申込書  
フォーム  
はこちら



しまくとうばナビ  
<https://shimakutuba.jp/>

検索

シマクトウバは地域教育です。  
シマクトウバを教える事は地域に根差し、  
グローバルな視点を持つ子どもたちを  
育てる事に繋がります。

しまくとうば  
普及センターが実  
施する講師養成  
講座の特徴

- ✓ 小学校の授業で教えられる講師を目指します
- ✓ シマクトウバを系統立てて教えられるようになります
- ✓ シマクトウバを教えるための指導案や教材の作成が学べます
- ✓ 講師は言語学や教育学の専門家です
- ✓ 受講生同士の学びあいで、一緒に考え、ネットワークがつくれます

## しまくとうば講師養成講座 沖縄 前期

1時間目 9:30~11:00  
2時間目 11:10~12:40  
3時間目 13:40~15:10

8/31  
(土)

- ①オリエンテーション ーなぜシマクトウバを教えるのか。その教育目標ー
- ②シマクトウバって、どんなことば？
- ③地域教育としてのシマクトウバの教育

会場  
沖縄県総合  
福祉センター

9/7  
(土)

- ④教師に求められること
- ⑤単語の種類 ー名詞、動詞、形容詞、副詞ー
- ⑥模擬授業 (上級 認定者) 2コマ

沖縄県総合  
福祉センター

9/21  
(土)

- ⑦沖縄語概説 (1) ー沖縄語にはどんな特徴があるのかー
- ⑧沖縄語概説 (2) ー沖縄語を教えるために必要なことー
- ⑨模擬授業 (上級 認定者) 2コマ

沖縄県総合  
福祉センター

9/28  
(土)

- ⑩形容詞ってどんな単語？
- ⑪形容詞ってどんな単語？
- ⑫模擬授業 (上級 認定者) 2コマ

沖縄県総合  
福祉センター

10/12  
(土)

- ⑬自ら学ぶ力を育てる ーなぜ文法を教えるのかー
- ⑭人は何の為に言葉を使うのか ー質問文、答える文、命令文ー
- ⑮ “あの蝶々は何？” “あの蝶々はオーゴマダラだよ。” ー質問分と答える文の種類ー

沖縄県立芸術  
大学 302 教室

10/19  
(土)

- ⑯シマクトウバの発音と書き表し方 ー文字指導を行う意義ー
- ⑰なぜカタカナで書くのか ーひらがな表記のデメリットとカタカナ表記のメリットー
- ⑱五十音図の仕組みと体系的な指導と音声指導 ー五十音図を「行」と「段」から考える ー

沖縄県立芸術  
大学 302 教室

11/9  
(土)

- ⑲名詞ってどんな単語？
- ⑳米洗う “前を・前に・前で” ホタルが二つ三つ ー名詞につく助詞「を」「に」「で」は何を表すの？ー
- ㉑シマクトウバの助詞と日本語の助詞の違い

沖縄県立芸術  
大学 302 教室

11/16  
(土)

- ㉒子どもたちを理解する ー未就学児に接する前に知っておくことー
- ㉓子どもたちの環境を理解する ー未就学児を取り巻く社会ー
- ㉔動詞ってどんな単語？ ー動詞の肯定系と否定形、現在形と過去形ー

沖縄県立芸術  
大学 302 教室

11/30  
(土)

- ㉕終止・連用・連帯 ー文中で働きが分かると活用形の仕組みが分かるー
- ㉖方言教育の特性 ー国語教育とシマクトウバ指導の相互補完性ー
- ㉗試験

沖縄県立芸術  
大学 302 教室

## しまくとうば講師養成講座 沖縄 後期 令和7年5月~8月予定

座学と実践（受講生1人づつ模擬授業）を行います。

後期の試験に合格した方は講師として認定され、人材バンクに登録されます。

その後は、シマクトウバ普及のための活動を積極的に行うとともに、

要請がある時には、しまくとうば普及センターの事業等にご協力ください。



## 講師陣紹介

教育学や言語学の専門の先生方。模擬授業担当は人材バンクに登録された講師養成講座北部上級認定者で、学校での授業経験者です！

狩俣繁久  
琉球大学名誉教授  
専門分野：国語学・言語学・音声学・琉球語学・形態論  
著書：『琉球宮古方言の音声学資料の収集・研究 - 宮古諸方言音韻』

喜屋武政勝  
沖縄大学人文学部  
こども文化学科 人文学部長  
専門分野：国語教育・日本語学  
著書：『小学生のための日本語』

下地賀代子  
沖縄国際大学総合文化学部  
日本文化学科教授  
専門分野：日本語学入門、琉球語学概論、琉球語（特に南琉球）の文法論

平田美紀  
沖縄女子短期大学児童教育学科教授 子育て・とも育ち支援室室長  
専門分野：幼児教育学 保育学

牧志勝男、加島由美子  
百地とき  
しまくとうば普及センターの実施する講師養成講座を受講し認定された講師  
活動：県内各地で講座や小学校のクラブ活動など

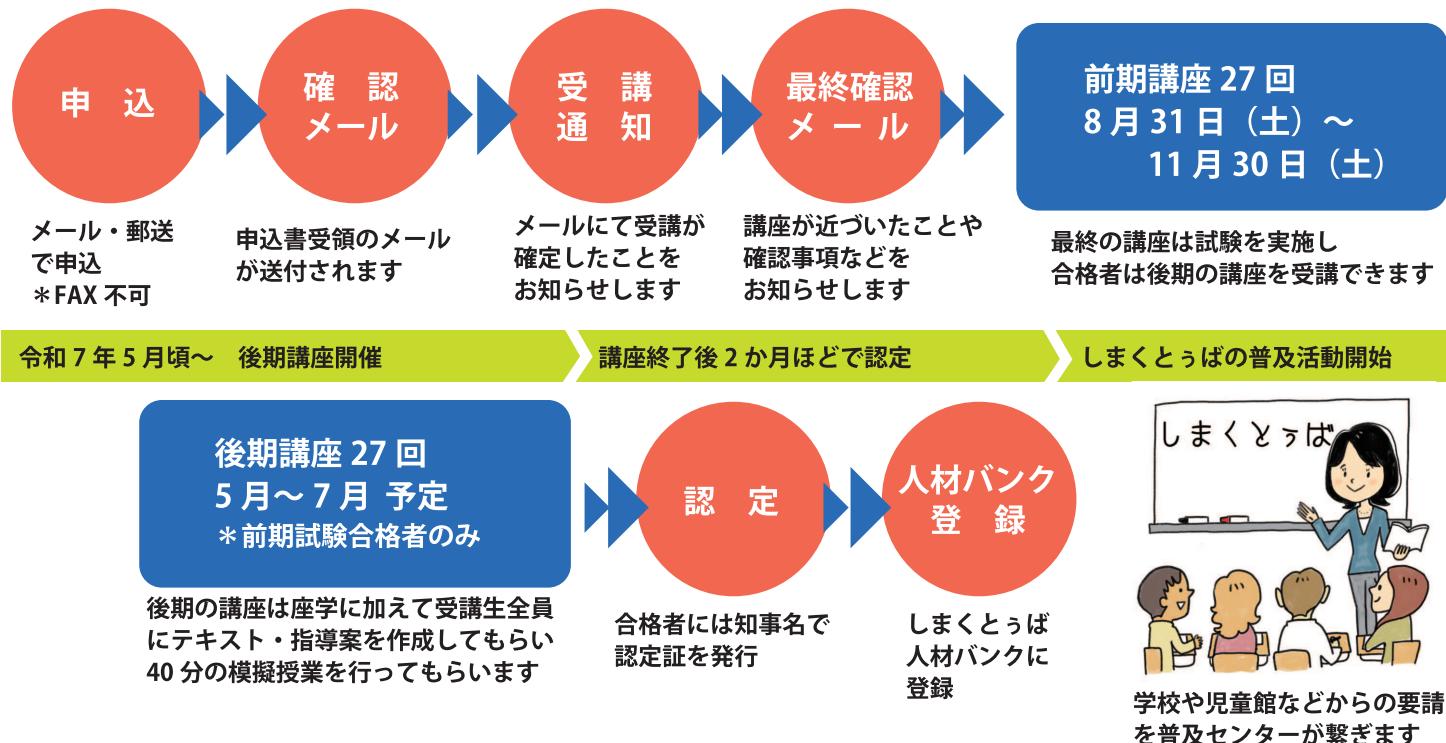
## 申込から認定まで

これまで3年かかっていた講座内容を見直し、2年で終了できるようにしました。  
認定後は、シマクトウバの普及活動に取り組んでいただきます。

7月1日（月）～7月31日（水） 募集期間

8月20日頃

8月31日 講座開始



本講座は～小学校の授業などでシマクトウバを教えられるようになることを目標にした講座です

- シマクトウバに関する知識を学ぶのみでなく、学校での教え方、子どもたちに接する際の注意点なども学べます。
- 授業を進めるために必要なのが、テキストと指導案です。学習の目標（目当て）、時間配分、進め方などを書いた学習指導案の作り方、教具の作り方、効果的なプレゼンテーションのやりかたが学べます。
- 教育学、言語学の専門家の授業と、過年度の認定者による模擬授業があります。
- 受講生同士でネットワークをつくり、講座終了後の活動に活かせます。

## 会場のアクセス



\*駐車台数に限りがあります。近隣に有料駐車場がありませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。